

**著尾準工業地域の開発は、町による買収でなく、土地区画整理組合方式による造成工事に變更せよ!**

この企業誘致の計画に、35億円を投じ企業には30億円で売却する計画(当初)だと明らかになって、町内外でも話題になりつつあります。

6月議会では、計画地域2万坪余りの土地を8500万円を調査(測量や鑑定等)する補正予算が可決されました。町長が議会最終日に「5億円の赤字はゼロにする」と答弁しましたが具体的な根拠も示さず信用できません。このまま推移すれば町財政に少なくとも5億円の穴をあける危険が現実のものになります。

**今日までに判明したこと**

①これまでもこの地域の開発が試みられてきたが地域の合意に至らず何度も断念した経緯があること。

②土地価格は坪当たり5万円前後と言われ、町の買収予定価格(議会

資料より計算)はほぼ二倍であること。

③北のA地区(1万7086坪)では、ある企業とその取締役が個人で所有している土地面積が9844坪(57%)と抜きんでていること。

今回の計画の目的は企業を誘致し新たな税収を確保することですが、既にこの地で事業を営んでいる企業まで撤去するのは筋が通りません。

④3億2400万円を投ずる幹線道路整備はこの造成とは別物」と町は説明しているが、希望企業の要望で調整する計画であり一体のものであること。

⑤南のB地区は土地も低く度々内水被害があり近くに遊水地を整備する計画であり、公益性があること。

⑥現状が農地の場合は米価の低迷や後継者問題で新たな活用に期待する声もあること。

9月議会でも引き続き「益が出ても損が出て町財政に影響のない」計画に変更するよう求めてがんばります。

**10月からはしお元気村・グリーンパレスが指定管理者制度に移行・・・公的役割を後退させ、住民の財産を営利企業に委ねるもの**

委託と異なり指定管理制度は殆ど町の代行者としての権能を持つため著しく公的役割を後退させる

ので問題があります。

“広陵いきいきプロジェクト”を指定しますが、この団体は国際ライフパートナー(株)(神戸市)と近鉄ビルサービス(株)(大阪市)のジョイント団体で営利を目的とする株式会社です。使用許可を出すのが町から指定管理者に移ることや利用料金は指定管理者のものになるなど儲からないことはしないのが原則となります。全国的にはこうした指定管理は減少傾向となっている上、契約期間満了時に払い下げるなど住民の財産処分につながるなど問題が多い制度であり、日本共産党議員団は反対しました。

**中央公民館の建て替えはどうなっているのか**

老朽化が進み、建て替えを求める請願が議会に提出され、議会は全会一致で採択した経緯があります。議会では王寺町に最近できた複合型のコンパクト施設を視察・研究して、中央公民館の建て替えを進めようとしています。町はまだ建て替えの判断を回避し、令和二年度に条例で「公民館のあり方」を検討するとしています。大きな経費を要する事業ですから十分に検討して判断するのは当然としても町の公共施設等総合管理計画にある「施設の建替時期(2033年)にあわせて用途廃止し」をそのままにしたままでは前に進められないの

ではないでしょうか。

建て替えとは別に、中央公民館が建築基準法等に違反する状態を改修する工事は、利用者の代替を個別に確認してすみやかに対応することを要求します。

**「ご存知ですか。町営の合葬墓が出来ました(三吉)」**

合葬墓がようやく整備され感慨無量です。これでお世話をすることができないというので、墓を持ってない方も気に入っていただけの可能性が出てきました。当面70歳以上の20柱を対象に募集したいとのこと。墓じまいを進めておられる方や家族が遠方におられる方など朗報であると思います。

以前から広陵町にお住いの方に限らず、広陵町に新たに転入して来られた方からもいろいろ議員団にご相談があり実現したものです。

5年に1回程度無宗教による町主催の追悼式も提案しています。ご意見をお寄せください。



図書館前の見晴らしのよいところで、費用は1回5万円、追加負担ありません。

